

# 鼓童



- トピックス 芸術監督・坂東玉三郎氏  
歌舞伎女形として重要無形文化財保持者(人間国宝)に
- 鼓童からのお知らせ 鼓童創設メンバー、名誉団員に
- アース・セレブレーション 2012 直前情報
- Coming Up 「伝説」坂東玉三郎氏インタビュー
- フリートーク 鬼澤綾子

「打男 DADAN」東京公演より「巴」 / 中込健太、坂本雅幸(写真:岡本隆史)

## トピックス

# 芸術監督・坂東玉三郎氏 歌舞伎女形として 重要無形文化財保持者(人間国宝)に



### 芸術監督 坂東玉三郎様

このたびは重要無形文化財保持者に認定されますこと、誠におめでとうございます。すべてを舞台のために過ごされた厳しい修練の積み重ねが国の宝として認められたことは尊敬の念に堪えません。これほど大きな存在である玉三郎さんを私達の芸術監督にお招きすることができ、そのご指導のもとで舞台創造の道を歩んでいることは、この上ない幸せです。

これまでも、舞台に立つ者の姿勢や物事の考え方、稽古の環境から食生活に至るまで、たくさんのご指導を学ばせていただきました。稽古ではひとりひとりと丁寧に向き合ってくださり、技術のみならず心を高めるアドバイスをいただきました。そのご指導に刺激を受けて大きく成長した若手メンバーが、現在の鼓童を支えるまでとなりました。

あらためて私達は、玉三郎さんのご指導のもとで芸道の神髄を全力で学び、視野を広げて新たな世界を吸収して舞台創造に挑んでまいります。

そして、鼓童を後世にまで受け継ぎ、将来には日本の古典と言われる域にまで高められるよう、精一杯精進してゆく所存です。重ねて心よりお祝い申し上げますとともに、これからもご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

二〇一二年七月吉日

鼓童代表 見留知弘



7/24 認定されるとの知らせを受けた鼓童村では全員で、演奏に花吹雪に横断幕で迎えました。

(写真：洲崎拓郎)

# 鼓童通信

2012年7月



七〇三 鉦山祭で演出と久し振りの「大太鼓」を務めた石塚充。緊張から解放され、アンコールでは満面の笑みを浮かべて。(写真：洲崎純子)

## DADAN 打男

七〇二 東京・赤坂ACTシアター

DADAN公演東京初日。「気がついたら本番が始まっていた」と感じるくらい一気に時間が過ぎた。この日は朝から搬入して、仕込み、本番というスケジュールだったので、本当に余裕が無かった。迫る開演時間に向けてプレイヤー、スタッフそれぞれに本番が成功するのかわという不安と緊張感を抱えていたと思う。

しかし、いざ本番が始まったら「打男」という名の通り約九〇分間、なり振り構わず打ちまくった。お客さんは満員で、パリの時とは勿論反応も違う。やはり待っていてくれた感じも伝わって来るし、最後の拍手と歓声がとても暖かいものだった。とにかく打ち続けることは改めて大変だったが、会場の充実感は大変素晴らしいものだった。(報告：前田剛史)

七〇四〜十六 熊本・八千代座

一〇〇年以上の伝統がある「八千代座」という昔ながらの芝居小屋での公演でした。天井は手書きの広告が天井画のように美しく並べられ、伝統工芸の山鹿灯籠を思わせる照明が華やかな雰囲気を作りだしてました。このような素敵な場所で演奏できることに、とても喜びを感じました。しかし、残念なことに熊本は記録的な豪雨に見舞われ、交通機関の不通などでご来場になれない方もいらっしゃいました。そんな状況下でも来てくださったお客様には最高の演奏を見て

ていただこうと、演奏者それぞれが気合いと熱のこもった音を届けました。(報告：草洋介)

## SADO PERFORMANCES 鼓童佐渡特別公演・夏

鳥のさえずりを聞きながら石段を降りるとそこは、時代を遡ったような宿根木集落。広場には七夕の短冊が揺れ、鼓童の幟が誇らしげに太鼓の音に踊っている。遠路はるばる訪ねて来てくださったお客様へ、ベテランメンバーと研修生とスタッフと集落の方々と、そして公会堂がひとつになつての「おもてなし」。懐かしくて暖かくてシンプルで何だかいい。そんな舞台を観ていただき、さらに私達の一押し「佐渡が島」を紹介出来たことがやっぱり嬉しい。秋も、来いっちゃ佐渡へ！(報告：小島千絵子)

## SOLO ACTIVITY ソロ・小編成活動

七〇六 宮崎正美 太鼓ワークショップ

鼓童初上陸の島根県松江市。今秋、公演を行う松江市民会館でワークショップを行いました。参加者は十代から上は七〇代の初心者の方々。始まる前から、会館のスタッフと、お手伝いくださる方々と太鼓でセッション。初めて会う方々といきなり楽しくなれる。太鼓って本当に素晴らしい。そして、いよいよ参加者の息を合わせて皆で音出し。不思議なものです。叩くうちに皆の笑顔が増えて、音も弾んでいきます。終わる頃には、

「松江にも太鼓グループを作ろう」と、会話が弾んでいました。次はワン・アース・ツアーで大勢参ります。またお会いしましょう！(報告：宮崎正美)

七〇八 柏崎市文化会館アルフォーレ開館記念式典 記念公演に出演

新しい建物のおい、まっさらの舞台。五年前の中越沖地震で使用不可能となつた会館のオープニングは、震災からの復興という意味でも各方面から注目されています。今回は開館記念式典での記念公演に、地元「綾子舞」の皆さんに続き、演奏させていただきました。今海一樹がお祝いのご挨拶をし、「SHAKE」「三宅」「屋台離子」と三曲。満席のお客様の拍手が会館への期待の表れのように思えました。佐渡の対岸の柏崎市は、佐渡市が合併する前の小木町の時代から「めおと港湾都市」としておつきあいを続けてきた経緯があり、九月の公演以降も様々な交流を行っていききたいと思っています。(報告：後藤美奈子)

## KODO CULTURAL FOUNDATION 鼓童文化財団

七〇十 岩手大付属中ワークショップ

岩手大学教育学部附属中学校の学習旅行。「ともに生きる」をテーマに、佐渡の人との出会いから「学ぶ」という三泊四日。前半を農山村推進体験協議会主体の民泊、後半を鼓童企画で正に官民一体の共催事業。本日は鼓童体験の一日。旧深浦小学校体育館に三年生一六〇名、先生



七ノ十 二六〇人の気持ちを掴んだ二時間半の齊藤栄一ワークショップ。気がつけば休憩をとることさえ忘れていた。午前中演奏を披露した若手も栄一をサポート。「仲間に入れて」と中学生と一緒に竹を叩く。

(写真：山中津久美)

九名を迎え入れた。午前中は鼓童公演を堪能。午後は全員で桶胴太鼓と手作り竹楽器を使つての齊藤栄一ワークショップに参加。トリは話術が巧みな(?)栄一講師による講義を聞く。朝、バスから降りる生徒たちの硬い表情とは一変、帰りは明るい表情と笑顔が見られた。

(報告：山中津久美)

### SADO ISH. TAIKO CENTRE 佐渡太鼓体験交流館

鼓童村の近くに建つて早や六年。たここう館は六月〜七月の中旬が太鼓体験のピークになります。ありがたいことに、体験される方が増え、一日に三〜四回の体験指導。学校、個人、グループなど様々な方に受けていただき、期間中に一〇〇回、およそ三〇〇〇人になりました。特に小学校の太鼓体験の際には心を一つにする。みんなの気持ちを合わせる。仲間を感じる。集中する。人の嫌がることをしない。物を大切にする。など、人生で大切なことを伝えたいと思つてやっています。さあ夏です、暑くなりました。少しお疲れの

方、元気になりたい方は、「しんちゃんせんせい」の太鼓体験はお勧めです。ぜひ佐渡へいらしてください。(報告：十河伸一)

### APPRENTICE CENTRE 研修所

七ノ十 佐渡特別公演夏 五日目

両親がカナダから来日していて、今日公演を観に来てくれました。実家を出てもう数年経ちますが、やっぱり親を見ると安心します。これまでは、一人で強がつついた緊張がほぐれる安心感でしたが、海をはさんで離れている今は、親の元気な姿を見られるだけで有り難くてしょうがないです。舞台を見てくれるより、自分の目で親の健康を確かめられたことが嬉しかった。本当は私が親の世話をしているはずなのに、いい年して夢を追いかけたい〜！ などと言っているこんな娘を応援してくれてありがとう。研修生時代に舞台上立っているこの貴重な機会、明日からも、もつともつと頑張ります。

(研修所日誌より：二年／野添悠子)

### MEMBER NEWS メンバー短信

このたび、スタッフとしてチケット業務等に携わっていた春日志津が、ご主人の転勤と出産にともない、七月末をもって鼓童を離れましたことをご報告いたします。お世話になった皆様に感謝申し上げます。

# 鼓童村の四季

暑き闇大群衆に光降る 純

梅雨明けの七月十八日、研修生一年生七名(二名欠席)とスタッフ一名、私の九名で松ヶ崎地区を吟行しました。小木方面から車で行くと多田、松ヶ崎、岩首、そして研修所のある柿野浦と、海岸線に集落が続きます。今回の吟行は松ヶ崎の「鴻ノ瀬鼻灯台」、岩首の「養老の滝」と「棚田」の三ヶ所です。

多田の港で集合した一行は、まず松ヶ崎の灯台をめざします。松ヶ崎は順徳上皇や世阿弥、日蓮などが佐渡へ遠島となり着いた所で、波音に歴史や旅情を感じます。

ふるさとへ想ひ届けて夏かもめ 龍馬  
次は岩首の養老の滝。車を止めると滝音が呼んでいます。むくつけき男達いや、爽やかな青年たちが、しばし滝の前で沈黙考。

研修生滝つ前に石となる 亮輔  
最後は岩首の奥の棚田へ登ります。先日、テレビ番組でこの素晴らしい景観を見たのですが、登れば登るほど霧が濃くなって、展望台は霧の中。でも、ある意味、又とない素晴らしいロケーション。スタッフの一句。

千枚の青田を隠す霧の海 美奈子  
研修所に帰ってから、先に投句した二、二年生他の作品四八句を互選。

相川の鉾山に連なる宵の舞 哲海  
最高点は準メンバーの作。相川の「宵の舞」を夏の季語にしています。

掲出の純の句は私の特選です。八月終りの小木港祭の三尺玉火花を連想しました。一年生の次の句も元気が伝わるいい作品です。

ランニング飛魚見つけ元気出る 龍和  
(赤塚五行 鼓童文化財団研修所講師)



作：宮崎正美

## 鼓童からのお知らせ

# 鼓童創設メンバー、名誉団員に

文●洲崎純子 写真●岡本隆史、西田太郎

春に続き、七月も十日間にわたって小木・宿根木公会堂で『鼓童佐渡特別公演』が行われました。藤本吉利らベテラン中心の味わいのある芸は、今回もお客様から好評をいただきました。鼓童の草創期から歩みを共にし、長年応援してくださった同世代のお客様にとっては、その歳月も含めて感慨深くご覧いただきたいと思います。

一緒に出演した若き研修生達もまた、先輩達の打つ太鼓や笛の音色、踊りのしなやかさや唄の味わいを日々目の当たりにして、そこに辿り着くまでのこれからの長い道程を感じたことでしょう。

鼓童は三〇年を経て、二〇代から六〇代という幅広い世代が集う集団になりました。以前は準メンバーから選考を経た後は、舞台メンバーもスタッフも、キャリアを問わず皆、鼓童メンバーと呼んできましたが、今年からは組織を分けて、舞台メンバーを太鼓芸能集団「鼓童」に所属する団員と位置づけました。（普段は、これまでのように「鼓童メンバー」と呼んでいます。）

そしてこのたび、鼓童メンバーで長いキャリアを持つ藤本吉利、小島千絵子、藤本容子、山口幹文を鼓童の「名誉団員」と呼ぶことになりました。

彼らのご存じの通り、前身の「佐渡の國鬼太鼓座」から在籍して舞台表現の礎を築き、後輩達の歩む道を切り拓いてきました。同時に長い間、鼓童の「顔」として各地で出会う人々との絆を深め、鼓童に対する共感の輪を広げました。「鼓童名誉団員」という名称と位置づけは、そうした長年の功労への感謝と敬意を込めるとともに、これからも鼓童の表現者として、末永く活躍してもらうことを願って贈るものです。

鼓童は今、団員の人数が増え、世代も経験も広がって、さまざまな表現の形を試みるのが可能になりました。国内外を旅する公演はもろろんですが、今回のようにお客様を佐渡へ誘う舞台や、ソリストとして、またワークショップなどの指導や交流というように、活動は多岐にわたっています。

長年培った経験や技術を、それぞれの希望する最もふさわしい形で生涯現役で表現し続けてもらいたい。そうした先輩の歩む姿は、後輩達の未来の姿であり目標となります。これからも鼓童の可能性を切り拓く先駆者として、そして原点に流れる鼓童の精神をいつまでも後輩に語り続ける存在であって欲しいと願っています。

### 藤本吉利（ふじもとよしかず）

鼓童最年長で今年六六歳。太鼓打ちとして数々の舞台に立ち、大太鼓や屋台囃子といった舞台のクラシックを飾ってきた「ミスター鼓童」とも言える存在。生涯現役で太鼓を打ち続けるのが目標であり、日本中の太鼓大好き人間と出会い、交流したいと思っている。

### 小島千絵子（こじまちえこ）

独自の舞踊の世界と女性の太鼓表現を開拓してきた。ソ口活動の「ゆきあひ」や佐渡特別公演など、改めてお客様との深い一体感のある表現に喜びを感じている。これからは佐渡を拠点にさまざまな表現を発信していくとともに、芸能の原点と、芸能に携わる自身の使命を見つめたいという願いがある。

### 藤本容子（ふじもとようこ）

唄を通じて、鼓童と人々の出会いと深いつながりを結んで来た。特に佐渡に対する思いは深く、独自の唄作りをはじめ十五年以上続いている島内小学校でのワークショップ、また今年は小学校校歌の作詞作曲を手がけた。心機転、来年からは吉利の郷里である京都和知に拠点を移し、佐渡と行き来しながら、鼓童団員としての新境地を拓いてゆく。

### 山口幹文（やまぐちもとふみ）

太鼓中心の舞台において、独学で学んだ笛をはじめ旋律楽器の演奏を確立し、演出や作曲を手がけて、鼓童の音楽性を牽引した存在。映画や演劇などの音楽監督や楽曲提供なども行った。今後はソ口活動や篠笛ワークショップを精力的に展開していきたいと考えている。



# アース・セレブレーション2012 フリンジ

今回のフリンジは、ハーバーマーケット内の特設ステージが会場です!  
ECには欠かせない顔から、初めての参加の方、佐渡で活動する皆さんをご紹介します。  
海風に吹かれながら、アツイ、熱いECでしか経験できないパフォーマンス、どうぞごゆっくりお楽しみください。



2011年ハーバーマーケットにて、特別フリンジ八幡青年会「八幡豆まき」

## 8/17(金)

- 10:00 サブリナ・ヘルシ：弾き語り
- 11:00 夕焼けランプ：鍵盤楽器の弾き語りと打楽器演奏
- 11:40 上州ろう太鼓 心響しんきょう：和太鼓演奏
- 12:40 蒔穫堵～Ma-Ka-Do：和太鼓とタップの演奏
- 13:20 Mojo world：民俗楽器と自作楽器
- 14:10 和太鼓RYOJIN×東京月桃三味線げつとうしやみせん：和太鼓と津軽三味線の演奏
- 15:00 羽茂リコーダーサークル：リコーダー合奏
- 15:40 Sandrine Monlezun：サンプリング、歌
- 16:15 Masaya Taniguchi Sextet：ジャズコンボの演奏
- 21:30 山口幹文「一管風月」：篠笛演奏 ★

## 8/18(土)

- 10:00 rabuka：弾き語り
- 11:00 和知太鼓保存会：和太鼓演奏
- 11:30 羽茂高校郷土芸能部：佐渡の郷土芸能の発表
- 12:00 三宅太鼓 ★
- 12:40 住吉 姐あね樽たる：樽太鼓演奏
- 13:30 花結 ★
- 14:15 八丈太鼓 ★
- 15:00 ウィンドアンサンブル佐渡：ブラスバンド演奏
- 16:00 丸の内朝大学 with 鼓童 齊藤栄一：和太鼓演奏
- 20:40 野上結美×谷口翔有子：ジャズ、タップセッション
- 21:15 野村同志会×サドラム：沖縄三線・竹太鼓演奏
- 小木・本町通りにて 18日 20:30～ 小木おけさ ★

★はワークショップ講師、招待グループによるフリンジです。スケジュールは予告なく変わることがあります。  
写真：田中文太郎、イラスト：真砂秀朗



## 8/19(日)

- 10:00 Seiji：アコースティックギターの弾き語り
- 11:10 和楽太鼓：和太鼓演奏
- 12:00 OVO NOVO：サンバ ★
- 13:00 佐渡の芸能たちばな (橘 鬼太鼓、春日鬼組、赤玉花笠踊り、浜河内鬼太鼓) ★
- 14:45 狩野泰一&今泉孝文LIVE ★
- 20:00 ジルバ(ロックバンド) ★
- 21:30 宵のゆんづる ★



# 特別フリンジ 佐渡の芸能

文●千田倫子



## 特別フリンジ佐渡の芸能

8/19 (日) フリンジ会場  
 13:00～ 橋 豆まき・獅子  
 13:15～ 春日鬼太鼓  
 13:30～ 赤玉 鬼舞・鹿踊り  
 14:00～ 浜河内鬼太鼓

フリンジ会場でご覧いただいた後、各団体が商店街を1ブロックほど歩きながら門付けて木崎神社に入ります。木崎神社で15:00頃終了予定です。

今年も、佐渡の芸能を存分に堪能していただけるよう、4団体をお招きしました。橋の豆まきと獅子、赤玉の鬼舞と鹿踊りに加え、今年ワークショップに新登場した浜河内の鬼太鼓と、毎年恒例の春日鬼太鼓の皆さんです。フリンジ会場を皮切りに、集落の祭りの雰囲気ですし門付け(かどづけ)しながら最後は木崎神社で奉納します。フリンジ会場では、NPO佐渡芸能伝承機構の松田祐樹さんによる解説を交えながらお届けします。佐渡びとの暮らしに欠かせない大切な心の支柱、珠玉の芸能をぜひお見逃しなく。

### ● 橋 豆まき・獅子(相川地区)

豆まきという芸態は、五穀豊穣・子孫繁栄など願うもので、素褌に烏帽子姿の翁が、升を持ち、長い袖を振りながら太鼓に合わせて舞うもの。太鼓は、毎年生木を削って新調した長いバチを、ぶち当てるように激しく叩くのが特徴です。今回のECでは、集落の祭りでも神社を出る時の注連縄切りも披露していただく予定です。

### ● 赤玉 鬼舞・鹿踊り(両津地区)

本来は鬼舞・鹿踊り・花笠踊りの三つを総称して「赤玉花笠踊り」と呼びます。今回は、その中の鬼舞と鹿踊りを披露していただくことになりました。この踊りは、中世の京都の芸能を習い持ち帰ったものと伝えられ、いずれも大きな花笠の元で、素朴な謡と笛・太鼓の音色に合わせて舞われます。鬼舞は雨乞いとも言われ、呪術的な香りも漂います。鹿踊りは関東、南東北に広く分布する三匹獅子ですが、その鹿の相には独特なものがあります。佐渡の一集落で脈々と継がれてきた古式ゆかしい芸能を、どうぞお楽しみください。

### ● 春日鬼太鼓(両津地区)

結成から今年で八一年になる春日鬼組。小学生から七〇代までと、幅広い年齢層が鬼組に所属します。祭り前一ヶ月間の稽古を経て、四月十四日の当日は太鼓を載せた山車を曳きながら、二五〇軒の家々を勇ましい鬼が門付けて廻ります。子供たちも山車にまとわりついて争って鬼を舞いたがり、それはそれは賑やかです。ECでは毎年お馴染みで、二〇〇三年より八回ワークショップの講師を務めていただき、街での観客を巻き込んだのパフォーマンスで、長年ECを盛り上げてくださっています。

### ● 浜河内鬼太鼓(畑野地区)

佐渡島内の春祭りの皮切りとも言える四月三日に行われる、畑野地区・浜河内の祭りの鬼太鼓。二匹の鬼が太鼓と笛に合わせて踊る。地元では踊ることを「打つ」という。前浜流鬼太鼓で「鬼太鼓の案内人」とも言えるローソが御花(祝儀)を頂いた家で口上を述べ、鬼と一緒に踊るのが特徴的。少子高齢化の進む地域で、近隣の集落同士助け合って祭りを行っているのですが、人々の心をのせたその祭り本番のエネルギーは爆発的で、観ている者を圧倒します。その熱い思いに惚れ込んで、春日鬼組に続く、今年の佐渡の鬼太鼓のワークショップ講師をお願いしました。



赤玉の鹿踊り

## フリンジ初参加 丸の内朝大学



近年の都市の新たなライフスタイルとして定着してきた感のある「朝活」。

中でも「丸の内朝大学」は、「M朝を、たのしもう」をコンセプトに、出勤前のビジネスパーソンを対象に様々な講座を開講して注目を集めています。

その「朝大学」の春学期のコミュニケーション学部の講座として「鼓童プロデュース! 和太鼓クラス」目指せ! アース・セラブレーション!」が開講されました。同学部は「人生のあらゆる場面において、必要不可欠なコミュニケーション力を、ユニークなアプローチで身につける学部」だそうです。太鼓は人と人をつなぐ力強いコミュニケーションツールであること、参加者の皆さんには、全八回のクラスを通じて感じていただけたのではないかと思います。

有楽町のスタジオでのワークショップの仕上げとして、六月に行われたフィールドワーク「佐渡島での太鼓合宿」では、東京では出なかつた大きな声が出たり、太鼓の回りを走り回ったりと、心身を解き放つた和太鼓クラスの皆さん。齊藤栄一の指揮のもと一つの曲ができあがっていき、迫力のある演奏をスタッフに披露してくれました。「熱き思ひ」で心がひとつにまとまった、和太鼓クラスの皆さんのフリンジの演奏をぜひご覧ください。



「伝説」ツアーが再び始まります。6月号では坂東玉三郎氏に若手の起用や育て方についてお話を伺いました。今回は芸術監督として鼓童の舞台への取り組みをどのように考えていらっしゃるか、春ツアーでお寄せいただいたお客様のご感想なども踏まえてお話を伺いました。

聞き手●洲崎純子 写真●岡本隆史、西田太郎

上記写真／坂東玉三郎、吉井盛悟作曲「月待ち」

## 歴代の思いをつなぐ「伝説」

——今回は、鼓童の舞台作りについて、芸術監督の考えをお聞きしたいと思います。

まず、私が過去に演出した鼓童の作品のお話をしてみたいと思います。

二〇〇三年に初演出で「鼓童ワンアースツアースペシャル」を作りましたが、これは私が初めて佐渡を行き来する道中で心に残った風景がベースとなりました。

佐渡の海、島に射す光、太鼓打ち、稽古の日々、過ぎゆく青春の一時、夕日、夜の静寂に聞こえる虫の声。そういう情景がイメージとなり、未熟ながらも『佐渡へ』という曲を作りました。遙か海の向こう側で若者が修行して太鼓を叩いているイメージが、一晩の舞台に見えてくれば良いなと考えました。またこの時に新曲として『巴』を作曲しました。

当時、鼓童では『大太鼓』が非常に大きな意味を持つ聖域でもありましたが、初めてそこに着手して、何人かが連続で打つという構成を試みました。

その時には、「演奏時間が長い」というご意見もありましたが、その後、「打男 DADAN」を上演してからも、大太鼓を何人かで交代で打つということが次第に認められ、新しいバリエーションになつて楽しんでいただけるようになったのです。これも二〇〇三年の経験があつて、現在に繋がっています。

——今回の「伝説」は、どのような発想から作られたのですか？

「伝説」を作るにあたって、まず思い浮かんだのは、前身の「佐渡の國鬼太鼓座」の代表であつた田耕<sup>でんかや</sup>さんを回想したいということでした。

実は、二〇〇三年の「鼓童ワンアースツアースペシャル」の時に、『屋台囃子』の締め太鼓のシーンで、屋台の後ろを佐渡おけさが無音で歩き過ぎるという演出をしました。すると青木さんから、偶然にも、鬼太鼓座当時に田さんが舞台で、無音の佐渡おけさを演出していたという話を聞き、三〇年以上の歳月を経た間に何か縁のようなものを強く感じました。そのようなこともあり、今回の作品には、田さんの心意気を入りたいと思いました。

もうひとつは、各時代の作曲者が作った曲を連ねました。現代作曲家の石井眞木さんによる『モノクローム』、鼓童の山口幹文さんの『いぶぎ』、そして私の作った新曲『カデン』です。そして現在の作曲者として、鼓童の吉井盛悟君が中心となつて作った『月待ち』『八丈太鼓を元に作曲』、準メンバーの住吉佑太君の『結』。そうした時代毎の作曲者の意志が繋がっていることを象徴して「伝説」というタイトルにしました。自分の曲まで「伝説」というのもおかしいかも知れませんが、新しい時代に向かつて、『巴』のようにたびたび演奏出来るような作品になり得る曲を自分も発表するべきだと考えました。



## 表現のために、どんなことにも柔軟でありたい

——今回の舞台を通して、お客様からさまざまな感想をいただきました。どのように受け止めていらっしゃいますか。

まず、半纏はなてではなくタンクトップを着させたり、さらびやかな衣装を着させたりということについて、長年ご覧になってきた方達には違和感もあつたでしょうし、ご批判もありました。しかし私はこれを、今後の鼓童の定番のスタイルとして推し進めたいと思っっているわけではないのです。

これまでも、光る物を身につけたり、白い半纏を着せたり、あるいは衣装だけでなく演目でも、通常では「一幕のクライマックスに登場する『太鼓』を幕に出したりと色々試してきました。これからも試行錯誤を続け、足したり引いたりしながら、最終的にはお客様に喜んでいただけるものが残っていくという道筋をたどりたいと考えています。演目で言えば、たとえば『巴』や『あじや』『UZUSHIO（うずしお）』なども、そのようにして出来てきました。

衣装の半纏というものも、もともと職人が着ていたものでした。はちまきも職人が汗を留めたりするものなのでしよう。うろこ模様というのは、人知を越えた力の象徴です。それを田さんが当時の舞台のスタイルにしたのが始

まりです。田さんの取り入れた、職人の半纏の機能性と、郷土的で純日本のイメージ。それを鼓童が引き継いでいます。これが定着しているといつても、何百年の伝統芸能の世界から見ると、まだ三〇〜四〇年足らずの時間です。長い間見続けてきた人にとってはこれが鼓童の正装だと考えておられるのですが、今後、一生変わらないものだと言いつけることは出来ません。そもそも正装というのは時代によって変わつて来ました。平安時代、鎌倉時代、江戸時代とさまざまです。そういう意味で半纏にあまり固執せずに、表現のためにもっと柔軟でありたい、というのが私の考えなのです。

たとえば、お祭りの時に髪に花を挿す時もあります。お祭りが終わつたら花を外すでしょう。そのような思いで作品を作り、お客様に楽しんで観ていただくことがなければ、鼓童の表現の枠組みを大きくすることはできません。私は、最初の振り幅を意識的に大きくして、ちよと今までと違う印象を与えながら、また振り戻すというスリルも皆様に楽しんでいただけたらと願っています。いろいろなものを着て、いろいろな観客の方々の声を聞き、お客様に晩を楽しんでいただくにはどうしたらよいかということをお大切にしたいのです。

もうひとつ、「鼓童の郷土的な匂いを失わないで欲しい」というご意見もありました。もともと鼓童は、郷土芸能的なものから着想を得て、音楽芸能集団として成り立つて来ました。



山口幹文作曲「いぶぎ」

しかし、実際に舞台上上がつている演目も、鼓童だけを見てきた人にはそれがオリジナリティと感じているのですが、地元の人にしてみれば、とても原型を留めているとは言いつけるのも、難しいものもあるかも知れません。劇場で上演する芸能と、神事としての芸能。自分達が何のために何を作りたいのか、そのことを問い質す必要があるでしょう。そういう意味では、もつと劇場のスタイルに即した演目を作る必要があると考えています。

「伝説」という作品自体については、この春のツアーを終えて、今ようやく見えてきたこともあるのです。作品作りは、稽古場に入つて打ち手と曲に出会つてみなければ、何が生まれて来る



坂東玉三郎作曲「カデン」



石井眞木作曲「モノクローム」

## 鼓童ワン・アース・ツアー2012～伝説

### 12月ツアー出演予定

藤本吉利、小島千絵子、齊藤栄一、見留知弘、辻勝、宮崎正美、石塚充、阿部研三、坂本雅幸、吉井盛悟、中込健太、前田剛史、草洋介、小見麻梨子、立石雷、小松崎正吾、安藤明子、井上陽介、住吉佑太、花岡哲海

### 【佐渡公演】

12月5日(水) アミューズメント佐渡  
9月29日(土)発売  
問)鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

### 【新潟公演】

12月8日(土) 9日(日) 新潟県民会館  
9月22日(土・祝)発売  
問) TeNYチケット専用ダイヤル  
Tel. 025-281-8000

### 【愛知公演】

12月11日(火) 愛知県芸術劇場 大ホール  
10月1日(月)発売  
問)中日劇場予約センター Tel. 052-320-1888

### 【広島公演】

12月13日(木) 広島市文化交流会館  
9月8日(土)発売  
問)広島テレビイベントインフォメーションセンター  
Tel. 082-249-1218

### 【兵庫公演】

12月15日(土) あましんアルカイックホール  
9月8日(土)発売  
問)ページワン Tel. 06-6362-8122

### 【神奈川公演】

12月18日(火) 神奈川県民ホール 大ホール  
10月6日(土)発売  
問) tvkチケットカウンター Tel. 045-663-9999

### 【東京公演】

12月22日(土) 23日(日) 24日(月・振休)  
文京シビックホール 大ホール  
10月6日(土)発売  
問) tvkチケットカウンター Tel. 045-663-9999  
※公演詳細はチラシまたは鼓童サイトをご覧ください。

## 鼓童の会先行予約

会員の皆様には申込書を同封しております。受付期間は公演地により異なりますので、ご確認ください。必要事項をご記入の上、ファクスまたは郵送で、鼓童チケットサービスまでお送りください。また、インターネットの「プレオーダー」もご利用ください。

田耕さん、河内敏夫さんが舞台を率いた時代以降、ずっとメンバーの中から演出家を選んで舞台を作ってきた鼓童が、初めて外部から私を芸術監督として迎えてくれました。長年ご覧になっている方の戸惑いはもちろんあると思いますが、それは避けられないことですし、それも

—— 今回の「伝説」の春ツアーを終えられて、あらためて、鼓童の芸術監督というお立場について、どのように感じていますか。

のか予想を立てることは出来ません。創作に予定調和はありません。はじめから何かの狙いや期待に込める作品を作ることは出来ません。そういう意味で、将来の作品に対する問いに答えることは難しいのです。出来上がつてみて、お客様の反応を受けて、初めてわかることがあるのです。秋からのツアー再開に向けて、さらに舞台を練り上げて行くつもりです。そして、十二月ツアーにはベテラン勢も加えた鼓童の新旧を融合した「伝説」をお届けしたいと思います。

含めて見届けていただかない限り、鼓童の舞台に対して、どんな方針も出すことができないと考えています。今まで通り安心して見ることができて、何も変わらない、何も動揺しないで見られる舞台を作るといふのであれば、私がここに居る必要はないと思うのです。

私は、今までの鼓童に蓄積されたものの中から、基本を大事にしながら更に表現を広げ、深めていきたいと考えています。そして心を開いて、真から楽しんでいただけるものを作ることが私の望みなのです。舞台の向こう側に広がる素晴らしい世界に皆様をお連れ出来るように最善を尽くします。長年ファンでいてくださる方、新しいお客様からの声を聞きながら、私自身、これからどういふふうに鼓童が船出をしていくかということを考えています。

(七月二十七日、鼓童村にて)



住吉佑太作曲「結」

## 感謝の気持ち 鬼澤綾子

先日、佐渡特別公演の春・夏と、毎日温かなそしてくのこもった公演を、多くの方に支えられ無事終えることが出来ました。間近で先輩方の息使い、迫力を直接感じられたのは大変贅沢なことでした。

4月、春の公演の本番を目前に、宿根木公会堂の準備は遅れていました。稽古よりも作業の時間が多いことに、私一人ひやひやしておりましたが、先輩方は時間も労力を惜まず、一つ一つ丁寧に、むしろいつもよりも生き生きと劇場作りを楽しんでおられました。

おもてなしと感謝の心です、妥協もしません。その気持ちをごここまで鼓童を支えて来たんだろくな、とあらためて思います。

この公会堂は、かつて私が研修生の頃、鼓童のメンバーを夢見、憧れを抱きながら花結の公演を見学したところであり、鼓童の歴史が沢山詰まったところなのです。

当時私にとって雲の上の存在であった人達と、こうして一緒に舞台上に立てたことは本当に幸せで光栄なことでした。

先輩方に持ち上げられるのではなく、今度はしっかりと自分の表現を作り上げて行かなければ。

自分が何を得たいのか、そして何を残していきたいのか、何を極めていくのか。

それは鼓童の先輩方に教わったことです。

このたび、長年お世話になりました佐渡、鼓童を離れ、琉球舞踊を学ぶため、沖縄に腰を据えることに致しました。

私が感謝の気持ちを心の底から実感することが出来たのは二〇〇五年、沖縄の琉球舞踊家佐藤太圭子師のもとで一年間、内弟子として勉強させて頂く機会を頂いたからだと思っております。

また新たな地で、一からの学びとなりますが、このように勇気を持って決断出来たことは、鼓童でたくさんのご経験をさせて頂いた成果だと思えます。

私の修行はまだまた続きます。

ここまで私を育てて下さった皆様、

そして今まで応援して下さいました、

本当にありがとうございます。

心から感謝申し上げます。

行つて参ります。



綾子が作舞した演目「蝶々囀々(ちょうちょうなんなん)」(写真・田中文太郎)

鬼澤綾子(おにざわあやこ) 1974年10月12日生まれ 千葉県浦安市出身

1993年研修所入所、準メンバーを経て、1995年よりメンバー。太鼓、踊りなどを担当。

鼓童の活動を通して琉球舞踊と出会う。その奥深さに魅せられ、2005年の沖縄特別公演「島結び」にむけて、長年鼓童がお世話になってきた琉球舞踊家 佐藤太圭子師の下で1年間内弟子として琉球舞踊を学び、公演準備のため滞在。佐渡では、佐藤太圭子師門下の金城光枝師に師事。

程よい天然さと、人の良さなどが舞台も日常も持ち味で、老若男女、本当に多くの方に応援していただきました。たまごのような愛らしい顔立ちと笑顔の下にある、頑固さと根性で、沖縄でもがんばってくれることと思います。佐渡と沖縄、島を結び、大輪の結の花を咲かせてくれることを祈って。

# KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(7月31日現在)

EC イベント  
たたこう館体験ウィーク  
しんちゃん先生と太鼓体験

8/10(金)-16(木)

たたこう館太鼓体験ウィーク

「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

佐渡太鼓体験交流館 (たたこう館)

1日3回開催 10:00/13:30/15:00

13日(月)は休館、16日は10:00のみ

1,500円 小学生 800円

定員各回 25名

問) 佐渡太鼓体験交流館

Tel. 0259-86-2320

Email: info@sadotaiken.jp

EC イベント  
佐渡新能公演

8/15(水) 佐渡市原黒

第一夜 椎崎・諏訪神社能舞台公演

椎崎諏訪神社能舞台 (両津地区)

演目: 能「天鼓一弄鼓の舞」(てんこ

ーろうこのまい) / 狂言「痺」(しびり)

/ 創作ダンス「KURUI」

8/16(木) 佐渡市相川下戸村

第二夜 春日神社能舞台公演

春日神社能舞台

演目: 能「トキ」/ 狂言「二九十八」(に

くじゅうはち) / 創作ダンス「KURUI」

出演: 津村禮次郎 (能)、小笠原匡 (狂

言)、森山開次 (ダンス) ほか

両日共 18:30 開場 19:00 開演

20:30 終演予定

前 大人 3,000円 小中高生 1,500円

当 大人 3,300円 小中高生 1,700円

自

2会場通し券(前売のみ) 大人 5,000円、

小中高生 2,500円

問: 佐渡観光協会 Tel. 0259-27-5000

Email: info@visitsado.com

アース・セレブレーション  
2012

8/17(金)-19(日) 佐渡市

城山コンサート 会場: 城山公園

8/17 18:30 ~ 20:30

鼓童「まつりはじめ」

(演出: 吉井盛悟)

1日券 前 4,700円 当 5,000円

8/18 18:30 ~ 20:30

鼓童「打男 DADAN」EC スペ

シャル (演出: 坂東玉三郎)

1日券 前 4,700円 当 5,000円

8/19 17:00 ~ 19:30

「祝祭」鼓童 with 上妻宏光

(演出: 船橋裕一郎)

1日券 前 5,200円 当 5,500円

8/17 ~ 19 通し券 13,000円

8/17+18 前 2日券 8,400円

8/18+19 後 2日券 8,900円

※通し券と 2日券は前売のみです。

※学生券 (高校生以上 ~ 24歳以下の

学生) 前 3,500円 当 3,800円 鼓童

チケットサービス (Tel. 0259-86-2330)

と佐渡島内一部のプレイガイドでのみ取

り扱います。チケットをお渡しする際に年

齢が確認できる物のご提示をお願いする

事があります。

※中学生以下は無料。

※城山コンサートは雨天決行です。但し、

荒天等主催者が危険と判断した場合は

中止することがあります。

Earth  
Celebration  
25th Anniversary

チケット発売中

8月14日(火) 17:00まで電話、EC

サイトでの予約申込を受付します。また、

8月16日(木) 13:00より、EC案内所(マ

リンプラザ小木)にて販売いたします。(案

内所での電話予約は不可)

アース・セレブレーション ホームページ

<http://www.kodo.or.jp/ec/>

アース・セレブレーション実行委員会 (鼓

童文化財団内) Tel. 0259-81-4100

小島千絵子

ゆきあひのんた!ライブ in 周南

8/25(土) 山口県周南市

周南市市民館 大ホール

(Tel. 0834-22-8650)

出演: 小島千絵子 (踊り、和太鼓)、

博之丞 (唄、鳴り物)、森美和子 (篠笛、

能管)、西野貴人 (和太鼓)、町元健

太 (和太鼓)、鬼澤綾子 (和太鼓、踊り)

18:00 開場 18:30 開演

前 3,000円 高校生以下 1,000円

当日各 500円増 自

※東日本大震災の災害遺児にチケット代

の5%を寄付します。

チケット取扱い: 周南市市民館、周南

市文化会館、スターピア下松、演奏堂

問) 実行委員会 江本保

Tel. 090-8606-6543

山口幹文  
風の彩 二管の綾 其の四

【風の彩 二管の綾 其の四 共通情報】

前 3,000円 当 3,500円 自

チケット申し込み・問い合わせ)

Tel. 090-7094-8875 (森)

Email: info@fuefuki.org

※山武市公演は別企画なため料金が異

なります

企画・制作: ユクリ (山武市公演を除く)

協力: 公益財団法人 鼓童文化財団

9/14(金) 京都府綾部市

若宮酒造 酒蔵

(味方町薬師前 4

Tel. 0773-42-0268)

※駐車場があります。

18:00 開場 18:30 開演

ワンドリンク (地酒、コーヒー、紅茶) 付き

共催: 月灯りコンサート実行委員会

問: 柏原 Tel. 0773-42-9809、

Tel. 090-8574-3658

9/15(土) 京都市

会場が変更になっています。

京都生活工芸館・無名舎

中京区新町通六角下ル六角町 363

Tel. 075-221-1317

昼の部 13:30 開場 14:00 開演

夜の部 18:00 開場 18:30 開演

9/16(日) 神戸市

神戸芸術センター Schumann Hall

シューマンホール (中央区熊内橋通り

7-1-13 Tel. 078-241-7477)

13:30 開場 14:00 開演

9/17(月・祝) 和歌山市

緑風舎

(野崎 165 Tel. 073-455-2313)

13:30 開場 14:00 開演

(7月31日現在)

## 9/19 (水) 名古屋市

想念寺(熱田区旗屋町 509)  
Tel. 052-671-8639  
18:30 開場 19:00 開演

## 9/21 (金) 【別企画】

千葉県山武市  
成東文化会館のぎくプラザ サロンコンサート vol.129  
成東文化会館 エントランスホール  
(殿台 290-1)  
18:30 開場 19:00 開演  
1,000 円  
主催・問: のぎくプラザ  
Tel. 0475-82-5222

## 9/23 (日) 札幌市

ザ・ルーテルホール The Lutheran Hall  
(中央区南大通り西 6 丁目仲通り 札幌ルーテルセンタービル 2F Tel. 011-251-1311) ※有料駐車場があります。  
18:30 開場 19:00 開演

藤本吉利 友情出演

## 9/15 (土) 石川県白山市

太鼓道五十年 菊池隆  
「八丈太鼓の名手」還暦を祝う会  
出演: 菊池隆(八丈太鼓の会)  
友情出演: 藤本吉利(鼓童)、今福優、山本綾乃  
グランドホテル松任 グローリーホール  
(西新町 152-7 Tel. 076-274-0001)  
18:00 より  
会費 12,000 円(ライブ演奏+ディナー)  
主催: 菊池隆の還暦を祝う会実行委員会  
発起人: 浅野昭利(財団法人浅野太鼓文化研究所理事長)  
※当日、会場のホテルにご宿泊の場合は、お一人様朝食付き 6,000 円でご利用いただけます(宿泊のみの場合は 5,000 円)。  
問) Tel. 076-278-5170 (小野)

鼓童&タイコーズ・イン・コンサート  
オーストラリア

## 9/15 (土)

クィーンズランド州ブリスベン  
Concert Hall, Queensland Performing Arts Centre

19:30 開場 20:00 開演  
6/20 (水) 発売  
問) Qtix Tel. 136 246

## 9/19 (水), 20 (木)

南オーストラリア州アデレード  
Her Majesty's Theatre  
18:00 開場 18:30 開演  
チケット発売中  
問) Tel. 08 8205 2220 or  
BASS 131 246

## 9/22 (土) オーストラリア首都特別地域、キャンベラ

Canberra Theatre Centre  
19:00 開場(予定) 19:30 開演  
チケット発売中  
問) Tel. (02) 6275 2700

## 9/24 (月) ビクトリア州メルボルン

Hamer Hall, Arts Centre Melbourne  
19:00 開場(予定) 19:30 開演  
チケット発売中  
問) Tel. 1300 182 183

## 9/26 (水) ニュー・サウス・ウェールズ州ニューカッスル

Civic Theatre Newcastle  
19:00 開場(予定) 19:30 開演  
チケット発売中  
問) Tel. (02) 4929 1977

## 9/27 (木), 9/28 (金)

ニュー・サウス・ウェールズ州シドニー  
City Recital Hall  
19:00 開場(予定) 19:30 開演  
チケット発売中  
問) Tel. (02) 8256 2222

ワン・アース・ツアー ~伝説  
9~10月

## 9/9 (日) 新潟県柏崎市 完売

柏崎市文化会館アルフォーレ  
JR 信越本線「柏崎」駅徒歩 7 分  
13:30 開場 14:00 開演  
前・当共 4,500 円 指  
未就学児の入場は不可 託  
問) 柏崎市文化会館アルフォーレ  
Tel. 0257-21-0010

## 9/11 (火) 岩手県葛巻町

葛巻町社会体育館  
18:00 開場 18:30 開演  
前・当共 一般 4,000 円 小学生以上高

校生以下 2,000 円 指

チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 葛巻町教育委員会  
Tel. 0195-66-2111 (内線 272)

## 9/12 (水) 岩手県北上市

北上市文化交流センターさくらホール  
JR「北上」駅より車で 10 分。東北自動車道「北上・江釣子」I.C. より車で 10 分  
18:30 開場 19:00 開演  
前・当共 1,2 階席 4,000 円 ペア 3,500 円×2 枚(ペア券取り扱いはさくらホールのみ) 3 階席 2,000 円 指  
チケット発売中  
未就学児の入場は不可 託 公演の 1 週間前まで申込、1 人 1,000 円  
問) 北上市文化交流センターさくらホール  
Tel. 0197-61-3500

## 9/14 (金) 山形県山形市

シベールアリーナ  
JR(山形新幹線)「かみのやま温泉」駅より車で 15 分、「山形」駅より車で 20 分、路線バスあり  
18:00 開場 18:30 開演  
前・当共 4,000 円 指  
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) シベールアリーナ  
Tel. 023-689-1166

## 9/15 (土) 福島県郡山市

郡山市民文化センター大ホール  
東北新幹線「郡山」駅より徒歩 20 分、車で 5 分。バスは 11 番より「池の台」経由の各路線で「文化センター」下車  
18:00 開場 18:30 開演  
前・当共 一般 4,500 円 学生・車椅子 2,250 円 指  
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 郡山市民文化センター  
Tel. 024-934-2288

## 9/16 (日) 茨城県ひたちなか市 完売

ひたちなか市文化会館  
18:00 開場 18:30 開演 指  
未就学児の入場は不可 託 公演の 1 週間前まで申込、1 人 1,000 円  
問) ひたちなか市文化会館  
Tel. 029-275-1122

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(7月31日現在)



写真…岡本隆史

**9/20 (木) 静岡県静岡市清水区**  
 静岡市清水文化会館マリナート大ホール  
 東海道線「清水」駅みなと口徒歩3分  
 18:00 開場 18:30 開演  
 前 5,000円 当 5,500円 指  
 チケット発売中  
 4才以下入場不可  
 問) エンボス Tel. 053-412-1010  
 静岡第一テレビ Tel. 054-283-8115

**9/23 (日) 愛知県扶桑町**  
 扶桑文化会館  
 名鉄犬山線「扶桑」駅下車、西へ徒歩10分  
 16:30 開場 17:00 開演  
 前・当共 S席 4,500円 A席 3,800円 指  
 チケット発売中  
 問) 扶桑文化会館 Tel. 0587-93-9000

**9/26 (水) 滋賀県彦根市**  
 ひこね市文化プラザ グランドホール  
 JR 東海道(琵琶湖)線「南彦根」駅より徒歩25分、車で5分  
 18:15 開場 19:00 開演  
 前・当共 1階席 4,500円 2階席 3,500円 指  
 チケット発売中  
 未就学児の入場は不可 託 9/15 (土) までに申込み、1人 1,000円  
 問) ひこね市文化プラザチケットセンター  
 Tel. 0749-27-5200

**9/27 (木) 大阪府茨木市**  
 茨木市市民会館(ユアイホール)大ホール  
 JR 東海道本線「茨木」駅より東へ徒歩10分、阪急京都線「茨木市」駅より西へ徒歩10分  
 18:30 開場 19:00 開演

前・当共 一般 4,000円 65才以上・障害者及びその介助者 3,500円 青少年(24歳以下) 2,000円 指  
 チケット発売中  
 未就学児の入場は不可  
 問) 茨木市文化振興財団・文化事業係 Tel. 072-625-3055

**9/30 (日) 兵庫県養父市**  
 養父市立ビバホール  
 JR「八鹿」駅より車で5分  
 18:30 開場 19:00 開演  
 前 3,500円 当 4,000円 指  
 8/8 (水) 発売  
 未就学児の入場は不可 託 要予約、9/23 までにお電話でご予約ください。  
 問) 養父市立養父公民館  
 Tel. 079-664-1141


**10/2 (火) 島根県松江市**  
 島根県民会館 大ホール  
 JR 松江駅よりバス10分「県民会館前」下車  
 18:00 開場 18:30 開演  
 前・当共 S席 4,500円 A席 4,000円 指 小・中・高・大生 2,000円 (当日座席指定)  
 チケット発売中  
 未就学児の入場は不可 託 無料、要予約 (9/25 締切り)  
 問) 島根県民会館チケットコーナー  
 Tel. 0852-22-5556

**10/3 (水) 鳥取県鳥取市**  
 鳥取市民会館  
 ※席種と料金に変更になりました。  
 JR「鳥取」駅より徒歩20分  
 18:00 開場 18:30 開演  
 前 4,500円 当日 500円増 自  
 チケット発売中  
 未就学児の入場は不可  
 問) 鳥取市民会館 Tel.0857-24-9411


**10/6 (土) 山口県下関市**  
 下関市菊川ふれあい会館 アブニール  
 山陽本線「小月」駅よりバスで25分(西市方面田部下車)  
 18:00 開場 18:30 開演  
 前 1階 S席 5,500円 A席 5,000円 2階 4,500円 当日各 500円増 指  
 チケット発売中  
 未就学児の入場は不可 託 要予約  
 問) 第5回 鼓童きくがわ公演事務局 笹山 Tel. 090-4692-5217

(7月31日現在)


### 10/7(日) 福岡県北九州市

北九州芸術劇場 中劇場  
JR「西小倉」駅より徒歩3分、「小倉」  
駅より徒歩10分  
17:30開場 18:00開演  
前一般5,000円 学生2,500円  
当日各500円増   
8/5(日)発売  
未就学児の入場は不可   
問) 北九州市芸術劇場  
Tel. 093-562-2655


### 10/8(月・祝) 長崎県雲仙市

ハマユリックスホール  
JR「諫早」駅より車で60分。島鉄バ  
ス「板引」バス停より徒歩1分  
18:00開場 18:30開演  
前4,000円 当4,500円   
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 雲仙市教育委員会  
Tel. 0957-37-3113


### 10/12(金) 宮崎県宮崎市

メディキット県民文化センター演劇ホール  
(宮崎県立芸術劇場)  
JR「宮崎」駅より車で10分  
宮崎交通バス(橘通三丁目バス停より)  
で①国富・綾行き、平和が丘行き、古  
賀総合病院行き「文化公園前」下車  
徒歩1分 ②文化公園行き終点より徒  
歩1分 ③宮崎神宮行き終点より徒  
歩5分 ④平和台行き「霧島三丁目」下  
車徒歩4分  
18:00開場 18:30開演  
前・当共S席5,000円 A席4,000円  
  
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 宮崎放送 Tel. 0985-27-6619


### 10/13(土) 鹿児島県鹿児島市

宝山ホール(鹿児島県文化センター)  
JR「鹿児島中央」駅、「鹿児島」駅から、  
電車「朝日通り」下車。市営バスほか「金  
生町」下車  
17:00開場 17:30開演  
前・当共5,000円、学生(高校生以下)  
3,000円、おとくシート:2枚以上の同時  
申込で1枚4,500円(おとくシートの取  
扱は鹿児島音協のみ)   
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 鹿児島音協 Tel. 099-226-3465

### 10/21(日) 長野県軽井沢町

軽井沢大賀ホール  
JR 長野新幹線・しなの鉄道「軽井沢」  
駅下車、北口より徒歩7分  
15:30開場 16:00開演  
前・当共S5,500円 A4,500円  
B(2階立見席)3,000円  
W(2階合唱席)3,000円   
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 軽井沢大賀ホールチケットサービス  
Tel. 0267-31-5555

### 10/23(火) 千葉県習志野市

習志野文化ホール  
JR「津田沼」駅南口徒歩4分  
18:00開場 18:30開演  
前5,000円 当5,500円   
チケット発売中  
未就学児の入場は不可  
問) 音楽工房キャプス  
Tel. 043-224-1710

藤本吉利 特別出演  
「祭響」～丹の国祝祭


### 9/23(日) 京都府綾部市

京都府中丹文化会館  
出演:綾部市太鼓連合会、和知太鼓  
保存会  
特別出演:藤本吉利、三宅島芸能同  
志会  
18:00～  
2,000円  
問) 京都府立中丹文化会館  
Tel. 0773-42-7705

鼓童 佐渡特別公演〈秋〉

日程が変更になりました。

### 10/13(土)-15(月), 10/19(金)-20(土)

全5回公演  
10/16(火)～18(木)休演  
新潟県佐渡市  
あゆす会館(佐渡・小木地区)  
14:30開場 15:00開演 16:00頃終演  
前3,500円 小人(4才～小学生)1,500  
円 当日は各300円増し   
鼓童の会会員特別価格:大人3,000

円 小人1,000円、会員特別価格は前  
売りのみです。  
定員各回約250名。定員に達し次第  
販売を終了します。  
※3才までの乳幼児は無料。  
※団体割引あり。詳細はお問い合わせ  
ください。  
8/1(水)発売  
問) 鼓童チケットサービス  
Tel. 0259-86-2330  
(月～金/9:30～17:00)


鼓童塾～齊藤栄一の太鼓篇

### 10/31(水)-11/4(日)


定員に達しましたので募集終了しました  
佐渡市柿野浦 鼓童文化財団研修所  
4泊5日  
指導:齊藤栄一(鼓童)  
問:鼓童文化財団(担当:千田)  
Tel. 0259-81-4100

坂東玉三郎特別公演に出演

### 11/1(木)-11(日)

(11/7は貸切公演)  
香川県仲多度郡琴平町   
金丸座(旧金毘羅大芝居)  
15:00開演 鼓童は第二部に出演  
A席18,000円、B席13,000円  
9/24(月)発売  
問:こんびら歌舞伎事務局  
Tel. 0877-75-6714

鼓童の会

 チケット先行予約のご案内

会員の皆様には申込書を同封してお  
ります。受付期間は公演地により異  
なりますので、ご確認ください。必要  
事項をご記入の上、ファックスまたは  
郵送で、鼓童チケットサービスまでお  
送りください。ま  
た、インターネット  
の「プレオー  
ダー」もご利用  
ください。



## ◆藤本吉利、小島千絵子が文化庁文化交流使に◆



7月19日に指名書交付式が行われました。(写真:菅野敦司)

このたび、藤本吉利、小島千絵子が「文化庁文化交流使」として指名をいただき、海外派遣されることになりました。

これは、文化庁が芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間「文化交流使」に指名し、海外各地へ派遣して日本文化を紹介する活動を展開し、日本の文化イメージの向上と諸外国との文化人や芸術家間のネットワークづくりなどを行うことを目指すものです。

来年1月20日から2月20日にかけて、藤本吉利が中国へ、小島千絵子がスペインへ派遣され、約1ヶ月現地に滞在して、ワークショップやデモンストレーションなどを行う予定です。

藤本吉利 派遣先:中国/北京日本文化センター、榆林センター等  
 小島千絵子 派遣先:スペイン/ジェラベル・アソッパ舞踏団スタジオ、マドリド日本文化センター等

## ◆ECと福島・サンバのリズムで架け橋を繋ぐ◆

鼓童では、東日本大震災復興支援活動「ハートビートプロジェクト」の一環として、今年のアース・セレブレーションのフリンジに、福島県いわき市より市民の皆さんによるサンバグループ「OVO NOVO (オーヴォ・ノヴォ)」と同グループ講師のパーカッションistである渡辺亮さんをお招きします。

1996年から10年間、「サンバで遊ぼう」というワークショップ講師としてECに参加してくださった渡辺亮さんが、2008年から福島県いわき市でサンバとアートのワークショップを通じて市民と交流されています。いわきの皆さんが「ECのフリンジに出演したい」という夢を持っていると聞き、今回、佐渡にお招きすることになりました。ぜひ彼らの演奏をお聞きください。

また、参加者の皆さんの滞在費用の一部をサポートするため、「READYFOR? (レディフォー)」というクラウドファンディング\*・サイトで支援を募っています。同サイトは8月17日までご支援を受付中です。ご協力いただければ幸いです。

「OVO NOVO」  
 フリンジ出演:8月19日(日) 12:00~(予定)

「佐渡の国際芸術祭と福島をサンバのリズムで架け橋を繋ぐ」  
 プロジェクトサイト <https://readyfor.jp/projects/171>

\*「クラウドファンディング」とは、ある「志」を持った人や団体に対する資金を、ネットを通じて多数の支援者から収集し実現する手法。

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。  
 Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631  
 Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼藤本容子が七月二三日の誕生日で、鼓童の女性としては初の六〇歳、還暦を迎えました。舞台の先達である容子さんは、私達機関誌編集部にとつても大先輩です。  
 八一年創刊「季刊鼓童」の時代から一〇〇号まで、ほとんど一人で編集されてきました。編集部後輩にとつて、鼓童として大切にしたいことは、いつも容子さんの考え方や姿勢から学んできたように思います。迷った時には、容子さんの言葉が私達を導いてくれました。来年からは活動拠点を京都・和知に移されます。一緒に過ごす時間は少なくとも、心はいつも共に。  
 (編集部一同)



写真:洲崎拓郎

容子さん、還暦おめでとうございませう！